



平成23年6月21日

第13回岡山大学キャンパス発掘成果展 『農耕のはじまりを考える—考古学と自然科学の融合、津島岡大遺跡での 実践—』の開催

<概要>

岡山大学埋蔵文化財調査研究センターでは、毎年1回、大学内外で展示会を開催していますが、今回はテーマとして「農耕」をとりあげます。

考古学と自然科学の最新の研究成果をもとに、岡山平野を舞台とした縄文～弥生時代の「農耕」にかんするさまざまな謎解きに挑みます。

さらに、猫形木製品（平安時代）の速報展示のほか、コーヒークップ片手に調査員と楽しく語り合う場として、今回初めて「コウコガク・カフェ」を企画しました。ワークショップもあり、盛りだくさんの展示です。多数のご来場をお待ちしています。

下記の要領で展示会を開催します。詳細は別紙をご参照ください。

・第13回 岡山大学キャンパス発掘成果展

『農耕のはじまりを考える—考古学と自然科学の融合、津島岡大遺跡での実践—』（入場無料）

・主催 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

・開催日時 2011（平成23）年7月13日（水）～18日（月・祝） 10:00～17:00

・会場 岡山大学創立五十周年記念館 1階 交流サロン

・主な展示品 ・弥生時代前期水田関連遺物を一堂に展示

【所蔵機関】津島岡大遺跡：岡山大学・津島遺跡：岡山県教育委員会・津島江道遺跡：岡山市教育委員会

・津島岡大遺跡の前期水田と地形の復元図（床面展示）

・栽培植物の圧痕土器（岡山県では最古のダイズなど）

★猫形木製品

★コウコガク・カフェ 7月16日（土）・18日（月・祝） 14:00～16:00

テーマは「猫」「水田」「土器の接合」など（テーマ変更の場合あり）

（無料・申込不要・時間内は随時参加できます。）

・ワークショップ 「体験！大昔の種を見てみよう!!」など

<お問い合わせ> 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

（本件担当）野崎貴博 （電話・FAX）086-251-7290